# 個 人 別 明 細 書 記 入 例

	*													<b>*</b> *	重	別	I	※ 整	理番	号	*				
(7)		I	Ш															1							
給	支 ////////////////////////////////////														(優格:	首番号	06	la le	6	70		110			
与	を	١,	(2	)													(役職		2 3	) 4 0	O	1/18	910	1112	
支払	受け	£	沼	津市	<b>行街</b>	幸	町2	0-	-2								(フリガナ) ヌマヅ タロウ								
報告	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·													名 沼津 太郎											
#		種		別			支							得控除後の金額 整 控 除 後 )				得控除の		源泉徴収税額					
個	3 給与・賞与 6					6	874	Ŧ 1 5	500	00 5			)6:	62 750			4 669 846				) <del>1</del> A				
人別	(源)	製)控	除対象配	偶者		配	<u></u> 黒者(	特別)			-		控防		*扶養		)数	_	16歳5			害者σ	数	非居住者	
明(	<b>4</b> )σ	有無	等 :	老人	5		2除(			F	特定	È	6	nc1	場者を 老人	除く。)	Τ.	その他	扶養権の			<u>人を除</u> 別	そのが	である親	
細	有	<del>-    </del>			Ŧ			PI	,	従人	$\vdash$	内	-	人從		人従人	_		内	٨		7			
₹	0	<u> </u>				38	0	000		100.00	1			1	1		4	- 1+20 +2	5			1			
	内	往	会保険	科等	の金額	孭	円	生	命保	険料	の控	除額	Ą	円		地震的	千 千	の控除額	! Pi	任宅	借力	金等物	別控隊	きの額 円	
			909	84	16				12	20 0	00			ſ			50	000		[		19 6	00		
	(摘		Althorites	nde :	ar./=	1 204 2		- Jude in	سر پ	- about -	m	Į.	トレン		abot c					•		_			
8	W	表示	後収	.時	丁代	枕	<b>承</b> 杨	. 理算	末道	1額(	円、	. 33	210年	外	积3	30,0	100	4							
7	(1	L)¾	E 隼	郎	(:	2) 袑	津:	六郎	(	3) 袑	]津	幸	子(	(年	少)										
(a)	生命係料の金の内	額	新生命保証 の金額		180	,000		生命保険 の金額		100.	000	FI 6	介護		9 (	0.00	0	新個人年金 保険料の金額	30	0.000		3個人年金 険料の金額	180	,000,	
			住宅借入金		2		T	居住開始年月日 (1回目)		年		手 月			日 住宅借入金等			住(特)		借入金等 末残高	L			PI	
10	住宅徒 金等特	特別 適用奴								30	1		1	10		特別控除区分 (1回目)				(1回目)		11,500,000		00	
<i>'</i>	控除の内		住宅借入 等特別控	除	205	205,000		居住開始年月日 (2回目)			年 月		Я	20		E借入金 対控除区	等 分 4	主(特)	年	借入金等 末残高	9,000,00		0.00	P	
		(-	可能額リガナ)			,000 ママッ				3	<u> </u>	<del>э</del>		:0	4	(2回目)	B		┰	20目) P	n			В	
11	(源泉· 特別) 控除		氏名					<del>ハナコ</del> 花子		区分				唱者	o [			コ 国民年金保険 料等の金額				旧長期損害 保険料の金額			
•	対象配偶常	(E	人番号	<del> </del>		_	6 7 8		9 0	1 2		_ 合計i		i得		ı	基礎控除の額		A P		円 所得金額 調整控除額		円		
	Т	_	フリガナ) ヌ		ヌマヅ イチロウ		<u> </u>	_ E				(	ツガナ)		!	ヌマヴ ハルコ					5人目以降の控除対				
		1			沼津			一郎		分	01			1	氏名			沼津 春		手子				e親族の L番号	
	lL		個人番号 3 2		2 1 4 5		5 6	6 7 8		9 0	0 1		1		人番		2 :	3 4 5			0	1 2	(1)087	654321	
	控除		リガナ)		ヌマヴ		1 ジロ	ジロウ		区分			6 歳	(;	フリガナ	F)		ヌマツ ナツコ 沼津 夏子 2 3 4 5 6 3 ヌマツ アキコ		<b>7</b>			0	98	
	対	'⊢	氏名	4	- 1	召津	= -	二郎 5 6 7 8 9 サブロウ			4	_	未	2	氏名					110	分	1 2		890123 56	
	象 扶	_	人番号  リガナ)	4	2 3	マツ	5 6				1		満の	_	人番		4   1			1 9	<b>0</b>	1 2	5人目以降	の16歳未満	
	養		氏名					三郎		区 分		ŀ	扶	3	氏名			沼津	秋子		分		の挟動	終親族の L番号	
	親族	値	人番号	5	2 3	4	1 6	7	8	9 0	1		養 親_	Æ	人番	号 9	2	3 4 5		8 1	0	1 2			
	,,,,	$\vdash$	リガナ)			ヌマツ	ノシロー	-		_ 区			族	(;	フリガナ	H)		ヌマヴ	723		区		(3)7890	12345678	
	ŀ	Ή-	氏名	_		召津	-i	郎		分			-	4		氏名		1 1 1		子		分			
	H	個外	人番号	<b>6</b> 災	2 3	<u> </u>	5 1	事	8	9 0	Н	2     (	$\overline{}$	Æ	人番	5 0	2	3 4 5	6 7	8 9	1	1 2			
	未成		<u>+</u>		7	$\mathcal{L}$		35	ひと	勤労	/	$\mathbb{I}($	13	中	途	就•	退耳	哉	(14	受 給	者	生 年	月日	3	
-	年者	国し退	害		特別	0 1		り親	学生		L		退	mme	年	月	日	$\vdash$	元号	J	年	月	日		
市		人	職	者	欄	他婦		机	1			就職」		1-5%	-	77	1 4		_	-					
区町	_	個	人番号3	Z (‡			<u> </u>		<u> </u>	1-	4	Ļ	١	_	T	6	4	1	_	昭和		62	4	13	
村	支	ž	番人	号	6	2 7	4	5	1	3   8	9	U	1	2	3	(石語	s で ii c ii	成してくださ	· (						
提 出 用	払者		所(居所)		ž	召津	क	卸幸	剛	16	_	1													
77		氏	名又は名	名称	ř	召津	市	役所	f									(%	(法計	05	5-	931	-250	00	
	氏名又は名称   沼津市役所   (電話)   055-931-2500   (撮要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。																								

【支払を受けた本人/扶養親族/支払者】の<u>個人番号(法人番号)の記入</u>が 必要となります。※正確に記入してください。

## < 記載要領及び記載に当たっての留意点 >

下記項目以外の詳細については、左見本及び国税庁が発行する「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」を参考にしてください。不明な場合は、提出先自治体もしくは管轄税務署へお問い合わせください。

記載欄名	記載すべき事項
①個人番号	支払を受けた本人の個人番号を必ず記入してください。
②住所	令和7年1月1日現在の住所を本人に確認のうえ、正確に記入してください。 ※居所の場合には住民登録の住所を()書きで2段書きしてください。
<u>③</u> 種別	専従者給与を支払ったときは <b>「専従者給与」</b> と記入してください。
④(源泉)控除対象配偶者の 有無等	控除対象配偶者を有している場合は【有】欄に「〇」を記入してください。 対象の配偶者が老人控除対象配偶者の場合は【老人】欄にも〇を記入してください。 配偶者特別控除の適用を受ける場合は、記入は不要です。
⑤配偶者(特別)控除の額	配偶者控除又は配偶者特別控除の額を記入してください。
⑥同居老親・同居特別障害	老人扶養/特別障害者扶養で同居の場合は左側「内」の欄に内人数を記入してください。
⑦非居住者である親族の数	源泉控除対象配偶者、控除対象配偶者、配偶者特別控除の対象となる配偶者及び扶養控除の対象となる扶養親族のうちに非居住者がいる場合並びに 16 歳未満の扶養親族のうちに国内に住所を有しない方がいる場合には、その人数を記載してください。
⑧摘要	1.特別徴収ができない方は、「個人住民税の普通徴収への切替理由書」の切替理由を確認し、該当する略号を記入してください。詳細は2ページ右面を参照(ださい。) 2.前職分を合算して年末調整した場合は、必ずその支払者/支払者/支払名/支払者/支払表/支入。 3.納税者の令和6年中の合計所得が1,000万円以上で、同一生計配偶者が障害者の場合には「氏名(同配)」と記入してください。 4.控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族が5人以上いる場合には扶養親族の氏名を記入してください。氏名の前には括弧書きの数字を付し、注1「5人日以降の控除対象(又は16歳未満の)扶養親族の個人番号」の欄に記載する個人番号との対応関係が分かるようにしてください。 5.所得金額調整控除の適用がある場合は、「氏名(調整)」と記入してください。 6.租税条約に該当する場合は、租税条約関連文言(○○租税条約○○条該当)を記入してください。「租税条約に関する届出書」の提出も必要です。 7.令和6年分所得税の定額減税に関する事項を記入してください。
⑨生命保険料控除	該当する保険料の各支払金額を漏れなく記入してください。
⑩住宅借入金等特別控除	区分や居住開始年月日の記載がない場合や区分が誤っている場合は、控除が正しく適用されないおそれがあります。  1.適用を受けている住宅借入金等特別控除の区分を次のように記入してください。 ●住・・・一般の住宅借入金等特別控除の場合(増改築を含む) ●認・・・認定住宅の新築等に係る住宅借入金等特別控除の場合 ●増・・・特定増改築等住宅借入金等特別控除の場合 ●震・・・震災特例法第13条の2第1項「住宅の再取得等に係る住宅借入金等特別控除」の規定の適用を選択した場合 上記区分のうち「増」は所得税控除のみ適用され、住民税控除の適用はありません。  2.上記区分が「特定取得」(特別特定取得以外)に該当する場合には「「(特・)」、「特別特定取得」に該当する場合には「(特特)」、「特別特定取得」に該当する場合には「(特特・)」と併記してください。  3.居住開始年月日は和暦で記入してください。
⑪(源泉·特別) 控除対象配 偶者、控除対象扶養親族等	扶養親族がいる場合は、⑥同居老親と同様に「控除扶養親族の数」の欄にそれぞれの人数を記入してください。人数の記載がない場合、控除されないおそれがあります。 1.「配偶者の合計所得」欄は支払金額ではなく、「所得金額」を記入してください。 2.16歳未満の扶養親族がいる場合は、「16歳未満の扶養親族」欄に、それ以外の扶養親族の場合は「控除対象扶養親族」欄に名前・個人番号を記入してください。 3.非居住者である場合には、区分の欄に分類に応じて「01」~「04」を記入してください。 4.所得金額調整控除の適用がある場合には、「所得金額調整控除額」を記入してください。 (※年末調整を行わない場合は、記入は不要です。)
⑫本人が障害者·寡婦·ひと り親·勤労学生	支払を受けた本人について該当する事項がある場合に「O」を記入してください。
③中途就•退職	中途就・退職があった場合は、該当欄に「〇」、年/月/日を記入してください。 ※記入がない場合、退職者でも在職者として扱われる場合があります。
<b>⑭</b> 生年月日	個人を特定するために重要な事項です。正確に記入してください。元号は漢字で記入してください。

1

# 個人別明細書作成上の注意

- 〇3枚複写の内、市区町村提出用と記載された用紙を提出してください。
- ○左上部に ⑦ と記載された様式で提出してください。
- 〇個人番号を必ず記入してください。
- ○「氏名」のフリガナ、「受給者生年月日」、「住所」は、本人に確認のうえ正確に 記入してください。個人を特定するために必要な事項です。

## 定額減税実施にかかる個人別明細書への表示

年末調整を行い、以下に該当する場合は摘要欄に記載してください。 不明な場合は、国税庁ホームページをご覧ください。

内容	記載方法
実際に控除した年調減税額	源泉徴収時所得税減税控除済額 ×××円
年調減税額のうち年調所得税 額から控除しきれなかった金額	控除外額 ×××円 (注)控除しきれなかった金額がない場合は「控除外額O円」
合計所得金額が 1,000 万円超 の方で、同一生計配偶者を年 調減税額の計算に含めた場合	非控除対象配偶者減税有 (注)同一生計配偶者が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合「減税有」の追記で差し支えありません。

### <非控除対象配偶者分の定額減税を受けた場合>

利	ŧ	別	支	支払金額 (調整控除後の金額 (調整控除後)						所得控除の額の合計額					源泉微収税額			
給与·賞与 14				400	00	Ħ	12	-	Ŧ	Ħ	2	84	9	930	円内	1 2	283	900
(源泉)	空除対象		(特別)		控除対象扶養親族の (配偶者を除く。)								16歳未満 技養報施		障害者の		非居住者である親	
の有	の有無等 老人		控除	の額		特別	È		老人			その他		敦	特別		その他	
有	従有		- 1		円	, ,	從人	内	,	從人		從人	,	Υ.	内			
						1							١.	1				
- 1	土会保防	(料等)		生命	保険	料の控除額 地震係					険料の控除額(				宅借入	余の額		
内		Ŧ	Ħ		Ŧ	P				Ŧ		- 1	٦		Ŧ			
	1569	93	- 1	20	000	)		5			0			20	205 000			
	(摘要)																	
			得税減税 偶者減税		額1	20,0	001	円、控	除外	額0	円							

#### 【国税庁HP】

定額減税 特設サイト

「給与等の源泉徴収事務に 係る 令和6年分所得税の 定額減税のしかた」



https://www.nta.go.jp/users/gensen/teigakugenzei/index.htm

# 普通徴収切替理由書について

- 〇個人別明細書の摘要欄に切替理由(普A~普F)の記入があることを確認してください。
- 普通徴収への切替は、切替理由書記載の理由(普A~普F)以外では認められません。 下記一覧表をご参照ください。
- 〇総括表の普通徴収の人数と切替理由書の合計人数が一致することを確認してください。
- ※切替理由書と摘要欄との整合性がとれない場合、特別徴収とする場合があります。
- ※eLTAXで給与支払報告書を提出する場合は、切替理由書の提出に代えて「普通徴収」欄に必ずチェックを入力してください。また、個人別明細書の摘要欄に切替理由書の理由(普A~普F)を記入してください。
- ※給与支払報告書を特別徴収で提出した後、該当の受給者が退職などの普通徴収切替理由 (普A~普F)に該当することになった場合は、「給与支払報告・特別徴収に係る給与所得者異動 届出書」により普通徴収に切り替えることができます。

#### <切替理由一覧表>※切替理由書より抜粋

略号	切替理由(下記6項目以外の理由は不可)
普A	総受給者数(専従者・乙欄・退職者を除いた合計)が2名以下
普B	他の事業所で特別徴収または普通徴収として扱う乙欄該当者
普C	給与が少なく税額が引ききれない・給与支払金額965,000円以下
普D	給与支払期間が不定期(例:給与の支払が毎月ではない)
普E	普通徴収として扱う事業専従者(個人事業主のみ該当)
普F	退職者・退職予定者(5月末日まで)

#### <個人別明細書記入例>

1	社会保険	料等の金	額	生	命保険	料の控	除額	地	震保険	料の控除額	<b>A</b>	住宅借.	入金等特	特別控	4
内	Ŧ		H		- 4	-	円		Ŧ		円		7		Ħ
	909	846			120	000	)		50	000			19	30	4
(摘要	<u>(</u> )														
源	源泉徽収時所得税減税控除済額0円、控除外額330,000円														
									•			•	र्गेट	A	
(1)	222年3	T (1)	7) 辺達	10000000000000000000000000000000000000	(3)	泗油	幸子(生	EN>)				-	_	Δ	
<b>(1)</b>	71114-1	LIMP (	27 14 1-	H/\M		1111	+1 (-								
<del> </del>	外死	災。乙	本人が障害	事 募	ひ	b)		<b>-</b>	_	=	1				
ьť	Ė	i i	10	_		岁   /	-	中途京	・退	職		受 給 君	1 生 年	F月 日	3
年	国退	害		٤		学   /									
者			影 6	: 1		<u> </u>	就職。	職 年	.   月	首	-	元号	年	月	日
	人職	者欄	1	□ 婦	.,,,,	<b>⊣</b> /	.,,,,,,,,			<b>↓</b> ¨	1			,,	
		- <b>7</b>				I/	<b>1</b>	6		Ι.					
		4 4 .			<u> </u>			4							

点線〇印内に記載がある場合は普通徴収の扱いとなります。